

「野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信」 ご参考資料 | 2019年3月29日  
Aコース（為替ヘッジあり）/Bコース（為替ヘッジなし）

## 注目が集まるクラウド業界と5Gの成長性

### ポイント



1. クラウド業界は今後も大きな成長が期待できる分野
2. クラウドが伸びる背景はデータ量の急拡大と利便性
3. 今後のクラウドを牽引する5G

## 1. クラウド業界は驚異的な成長を遂げている

### 拡大余地があるクラウド業界

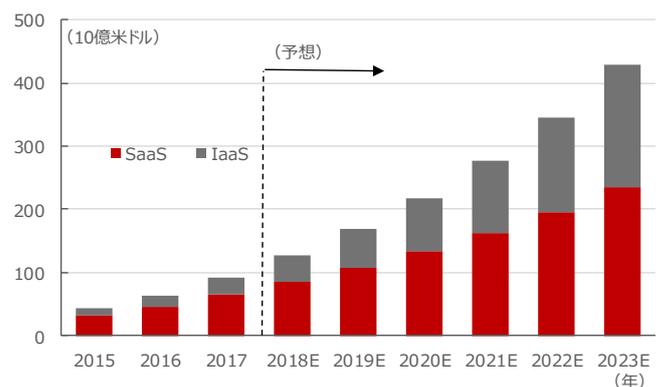
クラウド関連企業は過去5年間で大きく成長してきました。SaaS（ソフトウェア・アズ・ア・サービス）とIaaS（インフラストラクチャー・アズ・ア・サービス）を合算したクラウド関連企業の売上高は、2018年は年間1,200億ドルを超えていますが、それでも1兆7,000億ドル規模のIT業界の約7%にすぎません。

今後5年間でクラウド企業が生み出す年間売上高は4,000億ドルを超え、年平均27.5%の成長が予想されています。これにより、2023年までにクラウド市場はIT業界の24%を占めるようになると予測されています。

### クラウド化は革命的な進化

クラウドへの移行はまさに情報テクノロジーにおける最大のパラダイム・シフトの一つです。多くの企業は現在、自社のITインフラやアプリケーションをクラウドに移行しつつある段階であり、クラウドをITインフラの重要な戦略とみなしています。

### クラウド業界の市場規模



※ トムソン・ロイターズ、KeyBanc Capital Markets Inc. の予想値。  
(出所) 各社資料より野村アセットマネジメント作成。

### クラウドサービスの利用状況



期間：2013年～2017年  
(出所) 総務省「平成27年版 情報通信白書」  
(<http://www.soumu.go.jp/>) より野村アセットマネジメント作成

———上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。———

## 2. クラウドが伸びる背景はデータ量の急拡大と利便性

### データ量の急拡大がクラウド市場を牽引

Cisco Systemsの予測によれば、全世界のデータセンターで発生するデータの量は、2021年には2013年比でおよそ6.7倍（年率27%）にあたる20ゼットバイト（20兆ギガバイト）にまで増えるようです。当面の成長の牽引役は、動画サービスなどの消費者用途が圧倒的に多くなるとしていきます（15ゼットバイト）。そして、ビジネス用途が追いかけるように成長するようです。

クラウド業界はこうしたデータ量の急拡大の恩恵をフルに受けると考えられています。また、AI（人工知能）の普及により、AIを駆使した自動的なデータ処理に伴うデータ量増加も考えられ、需要は伸び続けると考えられています。

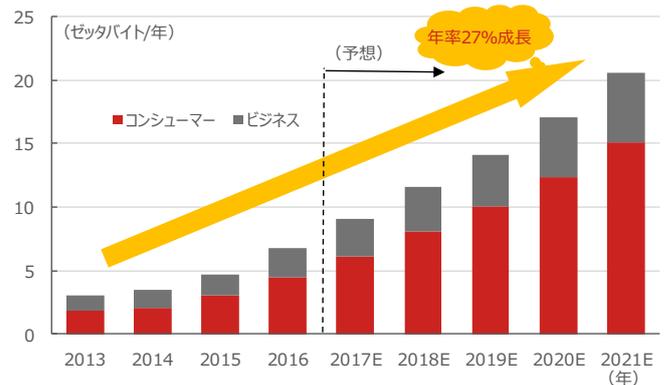
### クラウドの主役はSaaSやIaaS

従来はユーザー側にソフトウェアやサーバーを準備する必要がありましたが、クラウドではその必要がなく、インターネット上でサービスを活用します。代表的サービスであるSaaSは、SNSアプリのようなソフトウェアを、IaaSは、情報システムの稼働に必要な仮想サーバをはじめとした機材やネットワークなどのインフラを、インターネットを経由してサービスとして活用する形態となっています。

クラウドでは、従量課金制のため必要な分だけストレージを確保でき、データ量の増加に応じた拡張も可能です。また、短期間で運用が開始でき、常に最新ソフトウェア機能を使用できる、運用管理が不要になるといった運用面でのメリットや、最低限のコストで利用を開始できるため、コスト削減効果も期待できることから、企業での導入が進み、市場は急速に拡大しています。

———上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。———

### 世界のデータセンターの通信量の推移



※Cisco Systemsの予想を含む  
 (出所) Cisco Systemsより野村アセットマネジメント作成

### SaaS/IaaSのイメージ図



上記はイメージであり全てを表すものではありません。  
 (作成) 野村アセットマネジメント

### 3. 今後のクラウドを牽引する次世代通信規格 “5G”

#### 5Gの高速通信によって広がる未来

5G（第5世代移動通信システム）は、現在のネットワーク通信サービスを強化するだけでなく、大幅な機能の拡張により、あらゆる機器やサービスのパフォーマンス、効率、コストを改善し、市場に変革をもたらすでしょう。それは、既存の関連サービスにとどまらず、教育、交通、医療、エンターテインメントなど、多くの他分野にも影響を与えます。

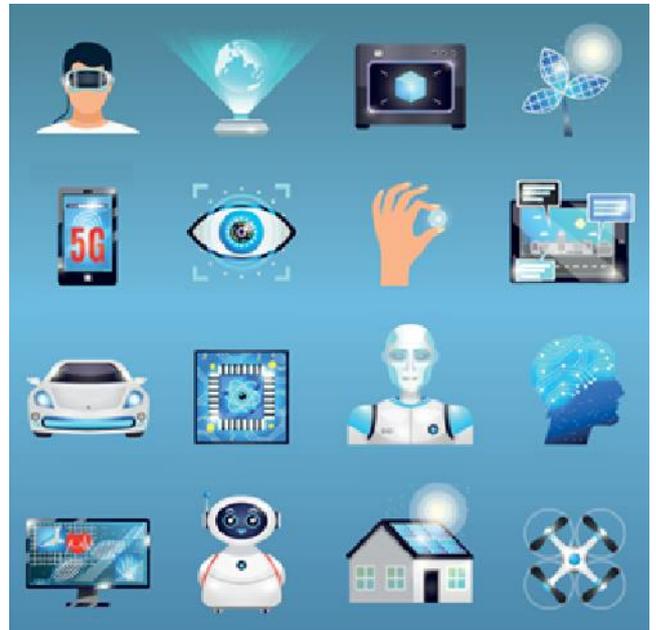
スマートシティ、コネクテッドカー、自動運転車などの新たな分野の発展には、5Gによって高速化、大容量化されたクラウドのネットワークは欠かせない存在です。5Gは、より多くの対象への無線接続を向上させ、より高速で信頼性の高いデータ転送を実現するため、クラウド提供企業にとっての新たなビジネスチャンスを生み出すと期待されています。

#### 5G通信規格のクラウドへの影響

5Gは、スマートフォンの性能を向上させるだけではありません。超高速、低遅延、低コストにより、VR（仮想現実）やAR（拡張現実）など、新たな没入型体験が可能になります。また、重要なインフラ、車両、医療処置のリモート制御など、市場を変革する新しいサービスを実現します。

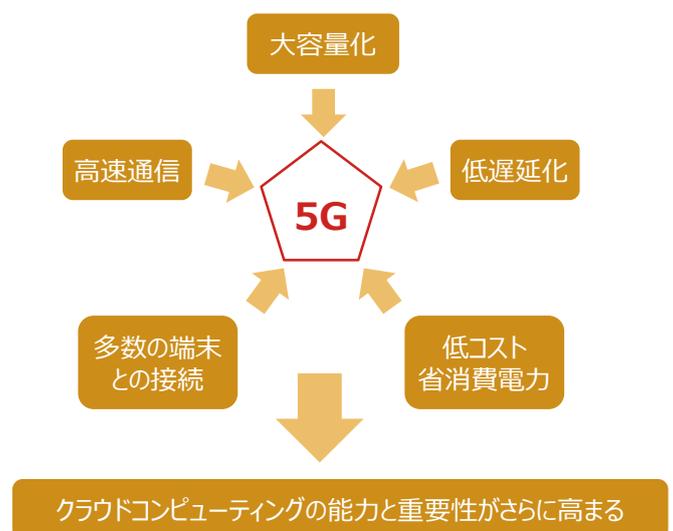
身近にある多くのモノが常にインターネットにつながるIoT化が進んでいます。5Gによりあらゆるモノから得られたデジタルデータは、クラウドに集積され、クラウド上で提供されているAIなどの機能により分析されることで、有効活用が可能となります。この点からも5G社会において、クラウドの重要性はさらに高まると考えられます。

#### 通信高速化で可能になる技術



（出所）アリアンツ資料より野村アセットマネジメント作成

#### 5Gが目指す世界



上記はイメージであり全てを表すものではありません。  
（出所）各種資料から野村アセットマネジメント作成

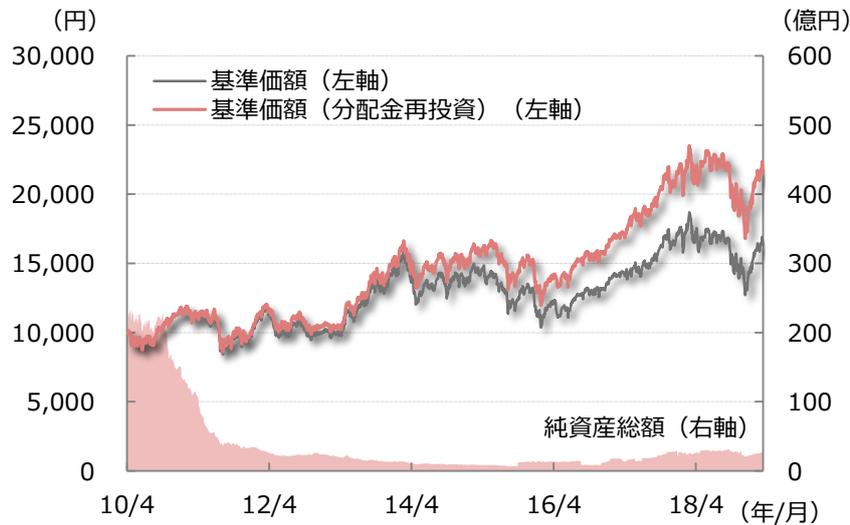
———上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。———

野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信  
Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)

## ファンドの運用状況

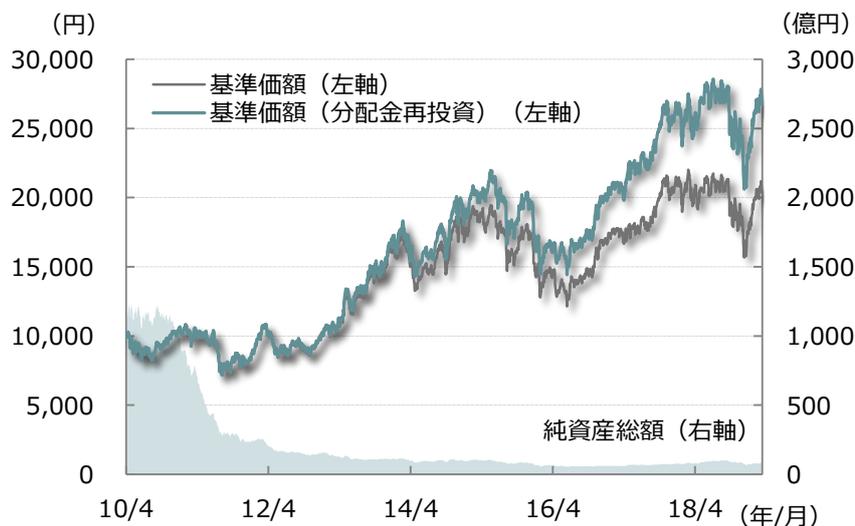
### <Aコース> 基準価額の推移

期間：2010年4月16日（設定日）～2019年3月27日、日次



### <Bコース> 基準価額の推移

期間：2010年4月16日（設定日）～2019年3月27日、日次



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

——— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ———

野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信  
Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)

## 【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界のクラウドコンピューティング関連企業の株式およびスマートグリッド関連企業の株式を実質的な主要投資対象<sup>\*</sup>とします。  
 ※「実質的な主要投資対象」とは、「野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - ・ファンドにおいて「クラウドコンピューティング」とは、ハードウェア機能、ソフトウェア機能、アプリケーション等の様々なサービスを、インターネットを通じて提供する形態のことをいいます。  
 ファンドにおいて「クラウドコンピューティング関連企業」とは、ハードウェア機能、ソフトウェア機能、アプリケーション等の様々なサービスを、インターネットを通じて提供する企業や、それら機能やサービスを提供するための媒体となる通信機器を製造する企業等をいいます。
  - ・ファンドにおいて「スマートグリッド」とは、情報技術等を活かして構築され、電力情報の双方向化、電源の分散化、電力供給の安定化等に寄与する次世代電力インフラのことをいいます。  
 ファンドにおいて「スマートグリッド関連企業」とは、スマートグリッド構築にあたって、電力情報の双方向化、電源の分散化、電力供給の安定化等に寄与する、通信・制御システムを提供する企業や、送配電網関連機器や電力貯蔵装置等を製造する企業等をいいます。
- 株式への投資にあたっては、独自のボトムアップリサーチにより各銘柄にレーティングを付与し、投資候補銘柄を選別します。  
 各銘柄のレーティングに加え、株価の割安度、流動性等を勘案し、クラウドコンピューティング関連企業およびスマートグリッド関連企業の株式への投資配分にも配慮した上で、ポートフォリオを構築します。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
- 「Aコース」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース」は原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは「野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信 マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- マザーファンドの運用にあたっては、以下の委託先に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

委託先名称	委託先所在地
Allianz Global Investors U.S. LLC (アリアンツ・グローバル・インベスターズ・US・エル・エル・シー)	米国 カリフォルニア州 サンフランシスコ市
Allianz Global Investors GmbH (アリアンツ・グローバル・インベスターズ GmbH)	ドイツ連邦共和国 フランクフルト市
Allianz Global Investors Asia Pacific Limited (アリアンツ・グローバル・インベスターズ・アジア・パシフィック・リミテッド)	中華人民共和国 香港

- 原則、毎年4月27日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。  
 分配金額は、分配対象額の範囲内で基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。  
<sup>\*</sup> 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

野村クラウドコンピューティング&スマートグリッド関連株投信  
Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)

## 【投資リスク】

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

### 【お申込メモ】

- 信託期間 2025年4月28日まで(2010年4月16日設定)
- 決算日および収益分配 年1回の決算時(原則4月27日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位  
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)  
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
・ニューヨーク証券取引所 ・フランクフルト証券取引所  
・ニューヨークの銀行 ・フランクフルトの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

### 【当ファンドに係る費用】

(2019年3月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.78%(税抜3.5%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.9116%(税抜年1.77%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時・スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

### ◀分配金に関する留意点▶

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

### ◆お申込みは **野村証券**

商号:野村証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人金融先物取引業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

### ◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104  
(受付時間)営業日の午前9時~午後5時

★インターネットホームページ★  
<http://www.nomura-am.co.jp/>

★携帯サイト★  
<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

**【当資料について】**

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

**【お申込みに際してのご留意事項】**

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。